

B-4 次の記述は、大気の屈折率及びラジオダクトについて述べたものである。このうち正しいものを1、誤っているものを2として解答せよ。

- ア 電波についての標準大気の屈折率は、高さ(地表高)とともに増大する。 ~~X~~ ^{減少}
- イ 大気の屈折率に地球半径及び地表高を関連づけて表した修正屈折指数(指数)Mは、標準大気中で高さとともに増大する。 O
- ウ 上層の大気の状態が高温低湿で、下層の大気はその逆の状態となるとき、Mの高さ方向の変化が標準大気中と逆になり、このような状態の大気の層を逆転層という。 O
- エ 逆転層はラジオダクトを形成し、超短波(VHF)以上の電波を見通し外の遠距離まで伝搬させることがある。 O
- オ 日本におけるラジオダクトの発生は冬季より夏季に多く、地上からの高さは電離層のD層と同じくらいである。 ~~X~~

